

## 第 2 回 WDS シンポジウムについて

昨年（平成 23 年）2 月 1 日の第 1 回 WDS シンポジウムに引き続き、2 回目の標記シンポジウムが下記のとおり開催され、37 名の関係研究者等の参加があった。

**【タイトル】**

2011 年度名古屋大学太陽地球環境研究所研究集会  
情報科学研究会・WDS 国内シンポジウム（第 2 回）合同研究会

**【開催日時】** 2012 年 3 月 23 日（金）10 時 30 分—16 時 40 分

**【会場】** 情報通信研究機構小金井本部本館 4 階国際会議室

**【プログラム詳細】** 別紙のとおり

2011 年度名古屋大学太陽地球環境研究所研究集会

## 情報科学研究会・WDS 国内シンポジウム (第 2 回) 合同研究会プログラム (会場配布用)

開催日時：2012 年 3 月 23 日 10 時 30 分—17 時 50 分

会場：情報通信研究機構小金井本部本館 4 階国際会議室

講演タイトル	講演者	時間
シンポジウムの趣旨説明	世話人	10:30-10:35
大規模分散ストレージを用いたジオスペース環境科学の情報処理	荻野瀧樹、○塚本隆啓、門脇優香、梅村宜生、梅田隆行、堀 智明、阿部文雄(名大 STE 研)	10:35-10:55
大学間連携事業 IUGONET の進捗について	○林寛生(京大生存研)、田中良昌(極地研)、堀智 昭(名大 STE 研)、小山幸伸、(京都大)、阿部修司(九州大)、新堀淳樹(京大生存研)、梅村宜生(名大 STE 研)、米田瑞生(東北大)、上野 悟(京都大)、金田直樹(京都大)、鍵谷将人(ハワイ大)、河野貴久(東大物性研)、吉田大紀(気象情報)、元場哲郎(極地研)、田所裕康(東北大)	10:55-11:15
宇宙天気情報サービスと OneSpaceNet	亘 慎一、加藤久雄、村田健史、山本和憲、渡邊英伸、久保田康文、國武 学(NICT)	11:15-11:30
IUGONET メタデータ DB の構築と現状	○阿部修司(九州大)、梅村宜生(名大 STE 研)、小山幸伸(京都大)、堀智 昭(名大 STE 研)、林寛生(京大生存研)、新堀淳樹(京大生存研)、田中良昌(極地研)、上野 悟(京都大)、金田直樹(京都大)、米田瑞生(東北大)、元場哲郎(極地研)、IUGONET プロジェクトチーム	11:30-11:50
OneSpaceNet を用いた GPS 全電子数データ利用システムの構築	○齊藤昭則(京都大理)、津川卓也(NICT)、Kornyanat Watthanasangmechai (京都大理)	11:50-12:10
昼 食		12:10-13:10
磁気圏電離圏システムの太陽風変動感応実験	藤田 茂(気象大学校)、村田健史(NICT)	13:10-13:30
連続 60 年の太陽電波強度観測	柴崎清登(国立天文台)	13:30-13:50
IGY 以降の宇宙線中性子データベースについて	○渡邊 堯、荻野瀧樹、阿部文雄、門脇優香(名大 STE 研)	13:50-14:05

WDCCR データの長期プロット作成とその問題点	阿部文雄(名大 STE 研)	14:05-14:25
北極域データアーカイブ	矢吹裕伯(JAMSTEC)、○川本温子(極地研)	14:25-14:45
海洋観測データのアーカイブとWDS	勢田名大(海上保安庁海洋情報部)	14:45-15:05
休 憩		15:05-15:20
地質調査総合センター(GSJ)のデータベースについて	牧野雅彦(産総研)	15:20-15:40
東日本大震災アーカイブの構築 - 個人でもできること、組織がないとできないこと	北本朝展(国立情報科学研)	15:40-16:00
データ活用型天文学に向けた取り組み	大石雅人(国立天文台)	16:00-16:20
国際データ庁構想	岩田修一(東京大)	16:20-16:40
日本学術会議情報学委員会・国際サイエンスデータ分科会・WDS 小委員会(拡大)		16:40-17:50
委員紹介、委員長・幹事の選出		
諸報告		
第 22 期における活動方針		
外部データ関連組織(CODATA、IPY、IRDR、GEOSS 等)との連携		
第 23 回 CODATA 総会(台北)WDS 関連セッションの提案		
その他		